

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年12月25日

計画の名称	横須賀港における船舶の安全な係留の確保と快適な水辺空間の創出											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）							重点配分対象の該当				
交付対象	横須賀市											
計画の目標	防波堤等の整備を行い小型船だまりの静穏度等を確保し、船舶の安全な係留等を図る。また、緑地を整備し快適な水辺空間を創出し交流人口の増加を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	583	A	583	B		C		D		効果促進事業費の割合C/（A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	横須賀港における小型船だまりの稼働率を92.2%（H27）から97.5%（H31）へ改善する。 横須賀港における小型船だまりの稼働率 波浪計算により算定	92%		98%
2	浦賀地区への年間緑地来訪者数を11.1万人から17.7万人へと増加させる。 年間来訪者数 標本調査により算定	11万人		18万人

備考	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 計画策定主体(横須賀市)による評価	事後評価の実施時期 令和2年12月 公表の方法 市ウェブサイト内での公表
------------------------------------	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none">・小型船だまり整備事業について、定量的指標の評価対象施設(防波堤一4)の整備が完了し、その効果を発現している。・完成し、供用している部分については生活道路の代わりや、憩いの空間としてよく利用されている状況がある。 隣接する県道の改良も含め、整備が完了すれば周辺との接続も良くなり、快適な水辺空間として十分な効果が発現すると考えられる。
定量的指標以外の 交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none">・小型船だまり整備事業について、防波堤一6は定量的指標の評価対象ではないが、一部が完了し、静穏度の向上に貢献している。

○特記事項(今後の方針等)

・一部完了しなかった要素事業について、走水地区の防波堤一6は、港内静穏度を向上させ、準備・陸揚げ・休けい時 の作業負担を軽減させるため、浦賀地区の緑地整備は快適な水辺空間の創出のため、令和2年度から令和6年度を事業期間とする社会資本総合整備計画に位置付け、引き続き整備を進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標(略称)	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	横須賀港における小型船だまりの稼働率を92.2%(H27)から97.5%(H31)へ改善する。	
	最終目標値	97.5%
	最終実績値	100.0%
2	浦賀地区への年間緑地来訪者数を11.1万人から17.7万人へと増加させる。	
	最終目標値	177,000人
	最終実績値	155,000人

隣接する県道の改良工事、接続部分の整備が完了できなかったため、全体としての供用がされていない。整備が完了すれば周辺との接続も良くなり、快適な水辺空間として十分な効果が発現すると考えられる。